第 2 回 監督がベンチに座らないバスケットボール大会

【開催目的】

1. 指導者がいない時に、普段の練習によって培ってきた戦術・戦略を選手同士で確認したり、自ら士気を上げたり、時にチームをリードしたりする経験を養う。そして、選手自ら行うことによって得られる気づきを増やし選手の「自立」を育む。
2. 指導者が俯瞰的にチームを観察し、普段は見抜けない選手の良いところを探す機会をつくる。
3. 選手の競技力以外の考えや行動に着目し、誰もが与えられた位置で輝く個性を磨く。

【競技方法】

1. 参加チーム男女それぞれ 2 試合ずつ。
2. 順位は決めない。
3. 指導者はベンチにいてはならない。戦術・戦略・交代の考案、実行は全て選手が行う。
4. ベンチには、保護者 3 名（スコア・救護・カメラマン）まで入れるものとする。
5. カメラマンはぜひベンチでの様子を撮影してください。
6. 試合終了後はベンチに待機し、他チームの指導者の講評と MVP 発表・メダル授与を行う。
7. 各チームの指導者は、指導者席で試合を観察する。
8. １Q 開始前に混成（低学年）交流試合を 5 分間行う。（０Q）
9. 全ての選手は０Q 前に入場し、０Q のみ対象選手もそのままベンチに入っても良い。

【競技規則】

1. 日本バスケットボール協会ミニバスケットボール競技規則に準じる。
2. 試合時間は 5-1-5-3-5-1-5 とし、ハーフタイムでの次の試合チームのアップは行わない。
3. ゾーンディフェンス禁止
4. タイムアウトは前半 1 回・後半 1 回とし、同点による延長戦は行わない。

【参加資格】

1. U12 で編成されたチームであること。

【その他】

1. 開会式・閉会式を行う。
2. 大会中の事故には、各チームで対応をおこなうこと。大会として保険には入っていないので、各チームで対応をすること。
3. MVP 審査基準は以下の通りとする
    - 献身的な行動やフェアプレー精神、相手チームへのリスペクト、試合やチームを良くする声掛け、戦略戦術の話し合いなど、競技力以外のスポーツマンシップを評価する。
4. 閉会式で大会総括、全体写真撮影を行う。

※第 1 回大会の KYT 鹿児島読売テレビの記事
https://news.ntv.co.jp/n/kyt/category/society/kye59549a080254ba0b1b7b830246c28de#